

## 1. 事故の概要

現地時間2020年8月6日以降、モーリシャス南東沿岸にて座礁していたばら積み貨物船「WAKASHIO」(わかしお)から燃料約1千トンが流出。



座礁地点

## 2. 日本の協力(危機管理フェーズにおける協力)

モーリシャス政府の支援要請を受け、2020年8月10日から9月18日まで三次にわたり国際緊急援助隊(計19名)を派遣。油防除作業や環境分野の支援活動の他、沿岸警備隊への油防除研修や油防除関連資機材を提供した。



ジャグナット首相が国際緊急援助隊を激励  
(2020年8月13日)

## 3. 日本の協力(中長期的な視点からの協力)

(1) 2020年9月7日、茂木外務大臣はジャグナット首相と電話会談を行い、モーリシャスの復旧と復興に向け、迅速かつ中長期的な視点から**これまでに無い規模で協力を進める**旨伝達。ジャグナット首相は、国際緊急援助隊の迅速な派遣や支援の申し出に謝意を表し、事故は日本の責任と考えていないと述べるとともに、引き続き日本の協力を得たい旨発言。

(2) 2020年12月13日、**茂木外務大臣がモーリシャスを訪問し**、ジャグナット首相及びボダ外相(当時)と会談。協力の進捗状況を伝達し、防災関連機材供与(無償資金協力)の交換公文に署名。また、油流出事故の復旧状況を視察。



茂木外務大臣がジャグナット首相を表敬  
(2020年12月13日)

### (3) 対モーリシャス協力の現状

- ①海難防止分野: 2021年2月22日に海上航行監視を支援する無償資金協力の交換公文に署名。海難防止分野の技術協力プロジェクトも実施予定。
- ②環境分野 } JICA調査団の調査結果を踏まえ、技術協力プロジェクトを
- ③漁業分野 } 早期に開始予定
- ④経済の回復・後押し: 2021年2月22日に緊急支援円借款(300億円)の交換公文に署名。貿易・投資促進官民合同ミッションを派遣予定。



茂木外務大臣が油流出被害状況を視察  
(2020年12月13日)